

八多小学校だより

平成30年度
12月号
神戸市立八多小学校



いよいよ、12月になりました。朝晩めっきり気温が下がり、冬らしくなってきました。

2学期もあと残すところ、16日間になりました。小学校では、2学期のまとめの時期になります。19日の朝会では、学習のまとめや友達を大切に過ごすなどの生活のまとめをする時期になったことを、子供たちに話しました。

ところで11月19日(月)と20日(火)に6年生が修学旅行に行きました。今年から目的地が奈良三重方面に変わり、今までの修学旅行の目的とは少し違ったものになりました。今年の修学旅行の目的は、大きく4つありました。

○社会科で学習した日本の歴史について、充実発展させる。
○世界遺産「法隆寺」や「奈良公園」を見学することによって、天平文化に触れる。

○仲間づくりを深めるとともに、社会生活上必要な生活習慣や公衆道徳について体験を積む。

○小学校生活のまとめとして、楽しい思い出を作る。でした。

先日修学旅行から帰ってきて、まとめをした6年生のしおりや作文を見せてもらいました。その中には、楽しかった修学旅行の様子や思いもしなかった体験への感想が書かれていました。その中から、いくつかの日記を紹介したいと思います。

・一番印象に残ったのは、浮見堂です。上にあみこんでいるように見えるのは、なんと木。日光がうっすら当たってす

ごくきれいです。そこのすぐ横に、緑の池がありました。
・今日は、奈良県の東大寺を見に行きました。調べ学習で見た写真よりもすこくはく力がありました。その後は、活動班でいろいろな場所に行きます。最初は正倉院でした。とても歩くのが大変でした。しかにせんべいをあげるのも、とても大変でした。最初はかわいいなと思っていたけど、いざあげるとすこくこわかったです。
・法隆寺でガイドをしてくれた寺田さん。とても分かりやすい解説でなじみやすい口調でした。

五重塔は、とても大きくて、高かったです。法隆寺で五重塔の中を見ました。でも、興福寺でも中を見たいと思いました。

(一部 抜粋)

まだまだたくさんの感想がありましたが、いつも仲の良い6年生らしく、みんなで楽しんで過ごした2日間の思い出がたくさんあふれていました。また東大寺大仏殿や浮見堂、二月堂、三月堂、正倉院などの奈良時代の歴史に触れ、いっぱい感動して、いっぱい歩き回った記録も、詳しく書かれていました。先人の思いやそれを実現するための苦労を感じることでできたよい修学旅行になり、とても良い記録が残せていました。

12月4日から10日は、人権週間になります。2日(日)にはサンテレビジョンで午前11時より、「ありったけの勇氣」という人権ドラマが放送されます。ご家族一緒に人権について考えていただくきっかけになれば、ありがたいです。

教頭 濱野 正英

3つの力

運動会に音楽会と、大きな行事を終えて充実感に包まれた4年生の子供たち。いつも係児童としてお世話になっている5・6年生にあこがれの気持ちを抱いていたので、音楽会の体育館練習のための楽器運びに参加できると聞き、「縁の下の力持ちとしてがんばる！」ととても張り切っていました。

そんな4年生が、4月から現在までで身に付けてきたと担任として感じる、「3つの力」を紹介したいと思います。

1. 集中力

休み時間が終わると気持ちを切り替え、学習に向かうことが素早くできるようになってきました。先日の作文を書く授業の時は、45分間、水を打ったような静寂が続き、それぞれに筆を進めていました。

2. 正義を守る力

ある日、休み時間に校庭で遊具をめぐり、ちょっとしたトラブルが起こったそうです。そこに居合わせた子どもたちが、間違ったことをしてしまった子に意見し、その子ども自分のしたことを反省することができました。間違った行いを見逃さず、何が正しいか考えて行動することができるようになってきました。

3. 小さい学年の友達をいたわり思いやる力

幼稚園さんとの交流や、「1年生とパソコンを学習しよう！」などの活動を通して、自分より小さい年齢の友達に優しく接する姿がたくさん見られるようになりました。八多ならではの環境で、子供たちはいたわりの心や思いやりを育てていると感じます。

まもなく3学期。5年生に向けてのステップ・アップの時期を迎えます。これから、どんな力を更に身につけていくってくれるかな・・・と担任としては期待でいっぱいです。

4年生、ますます進化中です！

4年担任 佐藤 敦子